

海況速報

平成 2 年度 第 3 号 (No. 15)

平成 2 年 8 月 13 日

北海道立水産試験場

7 月下旬～8 月上旬の海況

〔日本海海域〕

表面水温は 20℃以上で、津軽海峡西口海域では 24℃台となっています。50m 層では、道南沖合には 5℃以下の冷水域がありますが、積丹半島～道北の天塩沿岸沖にかけては 15℃以上の暖水域となっています。中・下層では昨年同時期にあった顕著な暖水塊はみられませんが、200m 層では岩内沖に暖水塊らしきものが認められます。

全般的に昨年と比べると、中・下層水温は昨年より高く、表層も高めの所が多くなっています。

なお、余市の沿岸水温も依然、平年より高めに推移しています。

〔オホーツク海海域〕

表面水温は沿岸の宗谷暖流域で 18～20℃、沖合域で 16～19℃台ですが、その間には宗谷岬東沖、枝幸沖、紋別沖に冷水帯がみられ、特に枝幸沖では顕著で 12℃台の低水温を示しています。中層では、沖合に広く分布している中冷水（マイナスの水温域は少ない）と沿岸暖流域との潮境は顕著です。昨年と比べると、表層水温はかなり高めですが、特に 100m 層では低めとなっています。

〔道南太平洋海域〕

表面水温は17～19℃台で、津軽海峡東沖で低くなっています。下層では昨年日高沖や八戸沖にみられたような冷水域（塊）は全くみられません。むしろ、200m層ではえりも岬南西沖合に10℃台の暖水塊らしきものがみられます。

昨年と比べて、津軽海峡東沖の表層水温は低くなっていますが、中・下層水温はかなり高く、ほかの海域の表層～下層水温も高めです。

なお、道東太平洋海域の定期海洋観測は8月下旬に実施しますので今回は載せていませんのでご了承願います。

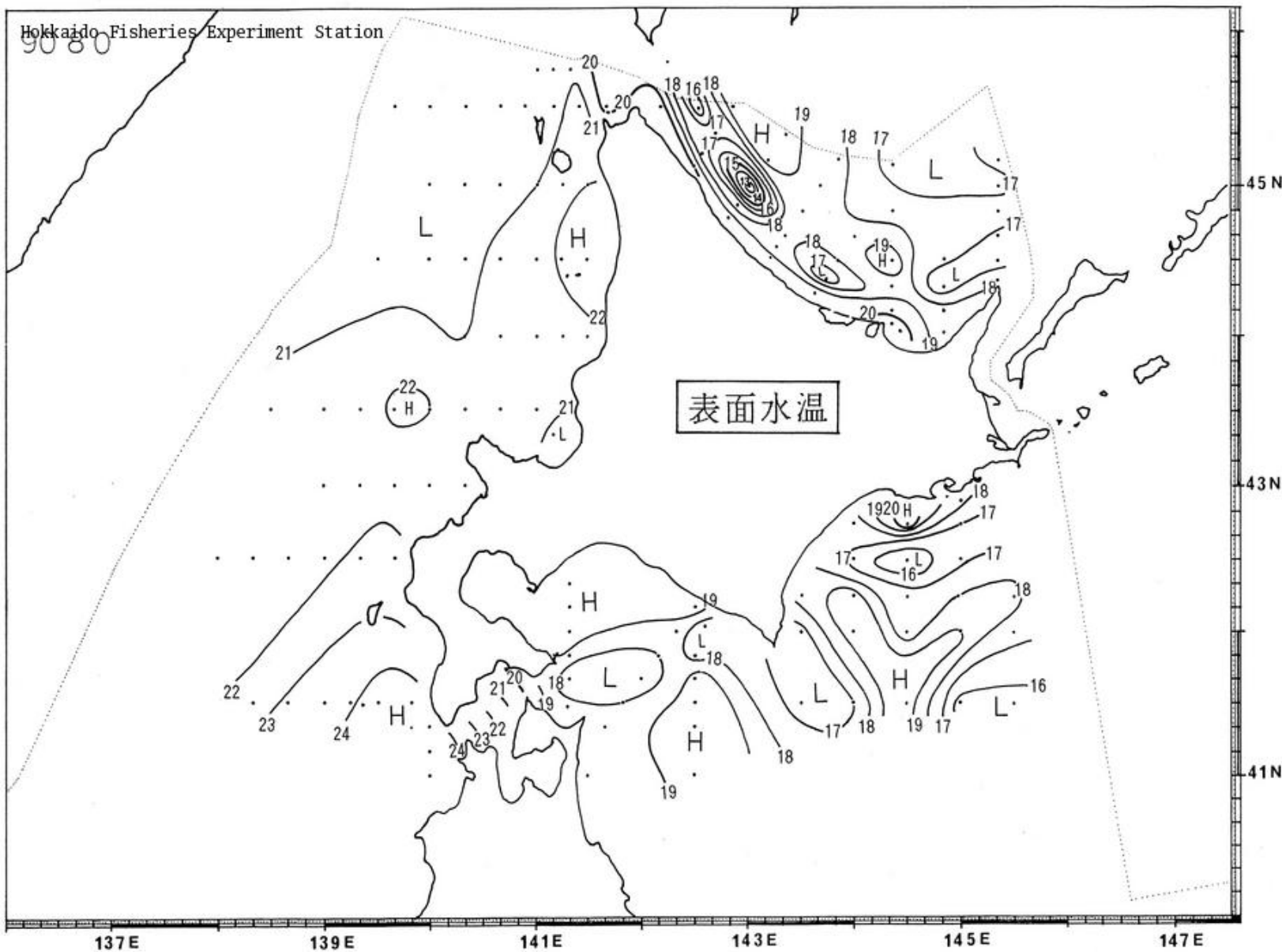
	資 料	〔観測期間〕
稚内水試（北 洋 丸）	7.30 - 8. 1	（道北日本海海域）
稚内水試（北 洋 丸）	8. 7 - 8. 9	（オホーツク海海域）
函館水試（金 星 丸）	7.23 - 7.26	（道南日本海海域）
中央水試（おやしお丸）	7.30 - 8. 2	（道央～道南日本海海域）

（中央水試 海洋部）

Hokkaido Fisheries Experiment Station

9080

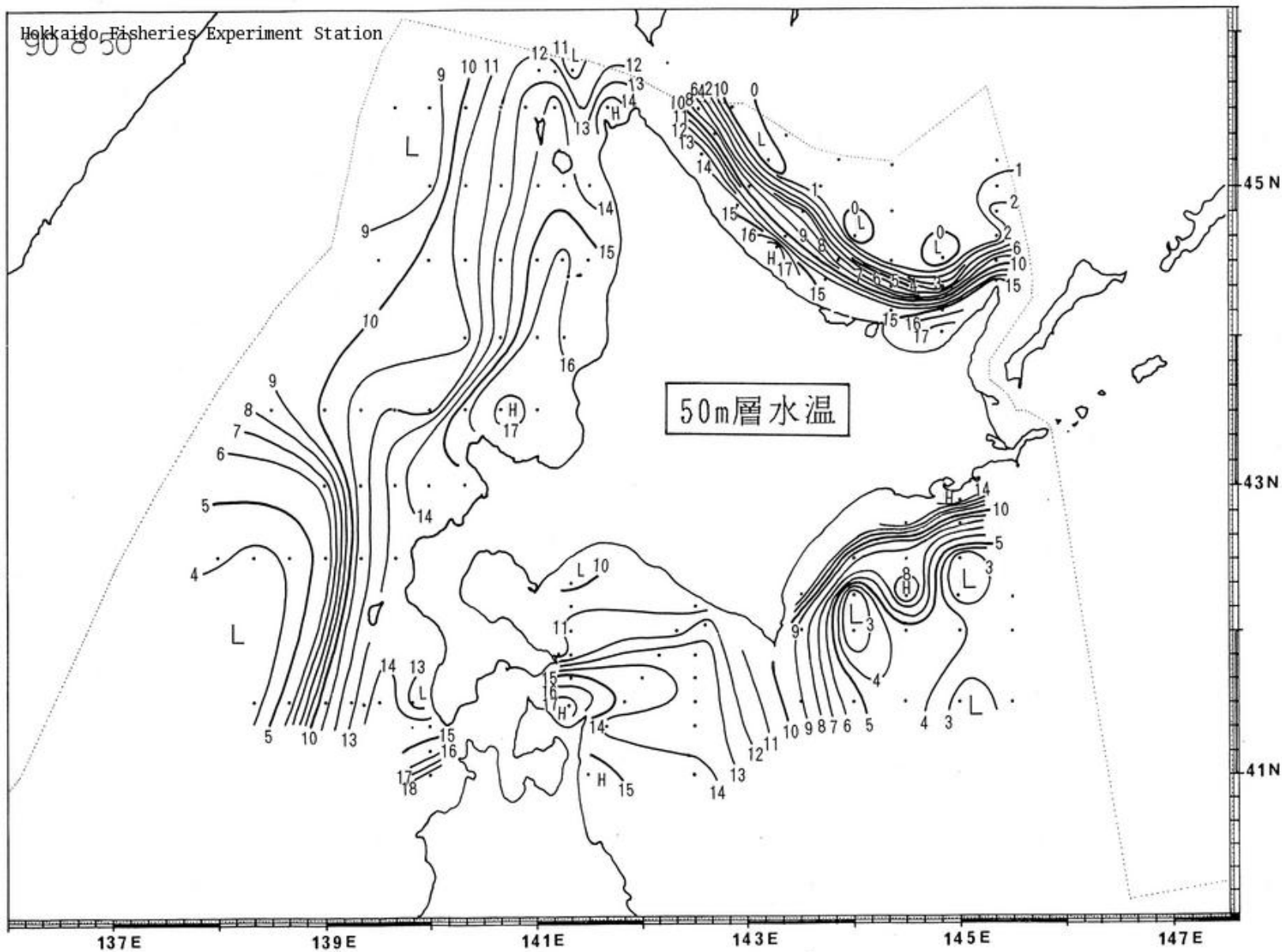
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

90 8 50

50m層水温



137 E

139 E

141 E

143 E

145 E

147 E

45 N

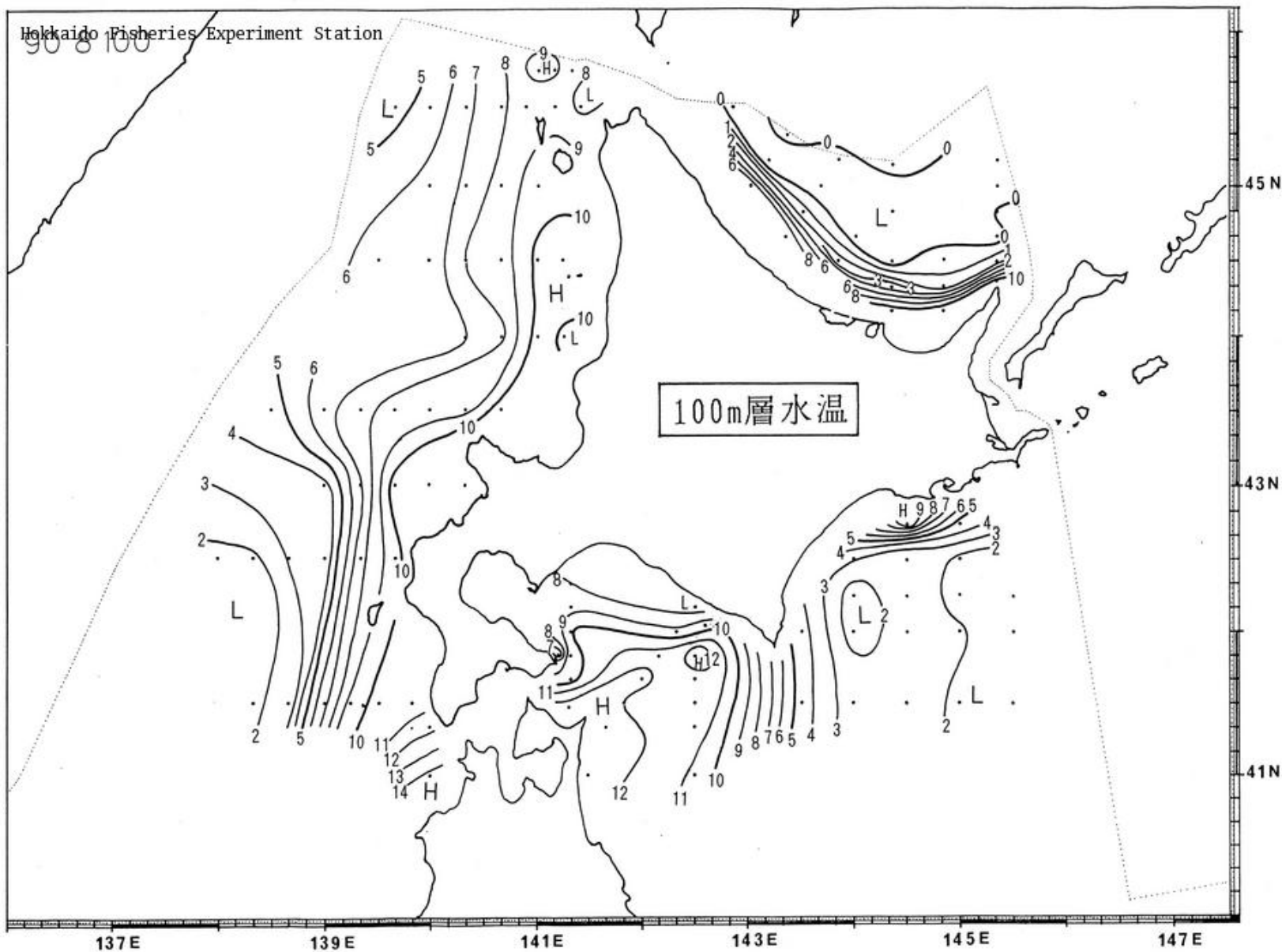
43 N

41 N

Hokkaido Fisheries Experiment Station

90 8 100

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

90 8 200

200m層水温

